

第36回CTV旗争奪大会兼 第50回春季全国大会支部予選



CHUKYO TV



日本少年野球連盟

期 間

令和2年2月22日(土)・24日(祝)
予備日2月29日(土)

会 場

熱田愛知時計120スタジアム(熱田神宮公園野球場)

主 催
後 援

(公財)日本少年野球連盟 愛知県西支部
中京テレビ放送(株)
愛知銀行 BSO(株)
(公財)日本少年野球連盟

開 会 式

開会式なし

閉 会 式

日 時	令和2年2月24日(祝) 15時30分
場 所	熱田愛知時計120スタジアム
次 第	1. 来賓、役員、審判員、監督、コーチ整列 2. 選手整列 3. 成績発表、表彰 4. 大会講評 5. 表彰式 6. 閉会宣言 7. 選手、来賓、役員、審判員、監督、コーチ退場

第36回CTV旗争奪大会役員名簿

《大会会長》		《大会顧問》	
愛知県西支部支部長	渡会 武則	日本少年野球連盟会長	藤田 英輝
《大会副会長》		日本少年野球連盟専務理事	惣田 敏和
愛知県西支部副支部長	脇田 勝	日本少年野球連盟理事	岩田 昇
〃	丹羽 正治	日本少年野球連盟理事	堀内 健
《大会特別顧問》		日本少年野球連盟理事待遇	野口 正晴
中京テレビ放送（株） 事業局長	松井 秀仁	日本少年野球連盟理事待遇	大野 一彦
《大会運営委員長》		日本少年野球連盟理事待遇	太田 英孝
愛知県西支部企画運営部長	服部 誠	《大会審査指導部長》	
《大会運営副委員長》		愛知県西支部審査指導部長	柴田 昭二
愛知県西支部行事委員長	伊佐治 広教	《大会審査指導副部長》	
愛知県西支部行事副委員長	澤中 涉	愛知県西審査指導副部長	林 日出夫
《大会事務局長》		《大会審判長》	
愛知県西支部事務局長	荒川 達哉	愛知県西支部審判長	山田 和雅
《大会副事務局長》		《大会副審判長》	
愛知県西支部副事務局長	澤中 涉	愛知県西支部副審判長	下林 和幸
《大会広報委員長》		〃	林 欣吾
愛知県西支部広報委員長	星野 忠啓	〃	木崎 勝広
《大会広報副委員長》		《大会審判員》	愛知県西支部審判諸氏
愛知県西支部広報副委員長	中村 直人	《大会運営委員》	
《大会会計部長》		中島 一迪	
愛知県西支部会計部長	牧野 義人	大塚 正行	
《大会会計副部長》		三河 一輝	
愛知県西支部会計副部長	林 透	加藤 剛司	
《大会会計監査》			
愛知県西支部会計理事	脇田 勝		

《大会規定》

- 1・1チームの登録選手は11名以上20名以内とする。
- 2・出場選手はその大会の登録締め切り日現在、連盟へ登録済みの者に限る。
- 3・審査証は2019年度発行のものとする。
- 4・オーダー表記入選手20名以内およびチーム責任者、登録された監督、コーチおよびマネージャーのみがベンチに入ることができる。但し、各種登録証(チーム責任者、監督、コーチ)および審査証(選手)を携帯していない場合は、いかなる理由でもベンチには入れないが、チーム責任者、監督、コーチは、試合開始までに間にあった場合は、審査の上でベンチ入りできる。また、選手は試合終了までに間にあった場合は、審査の上、その時点でベンチ入りできる。なお、チーム責任者は必ずベンチに入らなければならない。チーム責任者不在の場合は試合できない。
- 5・組み合わせの若番号が1塁側のベンチ、後番号が3塁側のベンチに入る。チーム責任者、監督、コーチは登録証を携帯すること。
- 6・監督(背番号60)、コーチ(背番号50)は選手と同じユニフォームを着用すること。
- 7・試合開始時刻60分前に試合場に到着し、直ちにオーダー表を5部、投球回数記録副表3部及び大会初戦の時は、直前大会参加報告書を大会本部に提出の上、所定の審査を受けなければならない。
- 8・オーダー表交換時に両キャプテンにより、先行、後攻をジャンケンで決める。
- 9・試合開始予定時刻までにチームがグラウンドに現れないときは、球場責任者と責任審判員が協議して没収試合を宣言することができる。
- 10・試合方法など
 - (1)各試合は6回戦で行い、4回終了をもって正式試合とする。試合成立後は試合開始から1時間40分(決勝戦は2時間)を超えた場合、新しいイニングに入らない(後攻チームの得点が先行チームの得点より多い場合は後攻チームが攻撃中でも規定時間になれば、その時点で試合を終了する)。また降雨や視界不良などにより試合続行が不可能となった場合、野球規則 7.01(4)により勝敗を決する。同点の場合は最終回時点で出場していたメンバー全員の抽選とする。試合成立前に、上記の理由により試合続行が不可能になった場合は、サスペンデッドゲームとする。
 - (2)4回以降7点差の場合、コールドゲームとする。
 - (3)6回終了後、同点の場合は延長戦に入るが、延長7回(決勝戦は9回)あるいは試合開始から1時間40分(決勝戦は2時間)を超えては(どちらか早い方)新しいイニングに入らず、タイブレーク方法を実施する。(競技に関する特別規則「タイブレーク実施細則」参照)
- 11・(1)1日6イニング以内、連続する2日間で8イニング以内とする。
 - (2)ダブルヘッダーでの連投を認めるが、投球回数を6イニング以内とする。
 - (3)例えば、1試合目で5回投げた場合には、次の試合で1回投げる事ができる。ただし端数回数(0/3回・1/3回・2/3回)は切り上げて1回とする。端数回数の0/3回は新しいイニングに入って一死もとらずに降板した場合を示す。なお、変化球を禁止する。
 - (4)日程の変更(地区大会を含む)等で前大会と連続試合になる場合があるので、すべてのチームは「直前大会参加状況報告書」を次大会の最初の試合日に、次大会主催者宛 提出しなければならない。
- 12・(1)監督またはコーチの指示、伝達は1試合で攻撃2回と守備2回の計4回とする。延長またはタイブレークに入った場合は、それぞれで1回の指示、伝達を認める。(選手の怪我や交代などの指示、伝達は回数に入らない。)
 - (2)守備側の投手に対する指示、伝達が3回目となれば、自動的に投手は交代となり、その投手は他の守備位置についてもよいが、再び投手として登板することはできない。
 - (3)内野手が2人以上投手のところに行った時も1回に数える。
 - (4)指示、伝達は審判がタイムを宣言してから「30秒以内」とする。
- 13・1イニングで同一の投手に対して指示、伝達が2回目となれば、自動的に投手の交代となる。その投手は他の守備位置に着くことができるが、同一イニングでは投手として登板することはできない。ただし、新しいイニングに入れば、再び投手として登板することができる。
- 14・審判員の判定に対する抗議は認めない。但し、ルール適用についての確認は認める。
- 15・監督またはコーチが投手に指示などをするとき、マウンドのところで行うこと。(ベンチからは駆け足で)
- 16・2塁走者やベースコーチなどが捕手のサインを盗んで、打者にコースや球種を伝える行為を禁止する。
- 17・ボール回しをする時は一回りとし、最終野手は、その定位置から返球する。また打者が打撃を継続中、塁上走者がアウトになった場合のボール回しは禁止する。
- 18・投手は走者をアウトにする意志がないのに、無用のけん制球を繰り返すとか、または送球するまねを何度も

繰り返す行為は、試合のスピーディーな進行の妨げになるため禁止する。

- 19・攻撃側チームの監督、コーチに限りコーチスボックス内でベースコーチを務めてもよい。この場合必ず両耳付きヘルメットを着用すること。
- 20・各チームは同色のヘルメット7個以上、捕手の規定防具（マスク、捕手用ヘルメット、プロテクター、レガース、スロートガード、ファールカップ）2組を備えること。一体型捕手マスクの場合はヘルメット、スロートガードを除く。
- 21・ユニフォーム、バット、スパイク、グラブ等は連盟指定業者のものに限る。
- 22・捕手は必ずヘルメットならびに規定防具を試合、練習を問わず着用すること。
- 23・グラウンドの都合で大会トーナメント規定が別に制定された場合は、それに従うこと。
- 24・ベンチ内での携帯電話の使用を禁止する。
- 25・光化学スモッグ発生の場合は、試合及び選手に対する措置は別に定め、運営委員の指示に従う。
- 26・試合前のシートノックは原則として5分間行うが、当該球場のグラウンド状況や試合終了時間を勘案してシートノックを行うか否かは球場責任者が決定するものとする。

参考

野球規則 7.02(4)

7.02(a)によりサスペンデッドゲームにならない限り、コールドゲームは、球審が打ち切りを命じた時に終了し、その勝敗はその際の両チームの総得点により決する。

【注】我が国では、正式試合となった後のある回の途中で球審がコールドゲームを宣したとき、次に該当する場合は、サスペンデッドゲームとしないで、両チームが完了した最終均等回の総得点でその試合の勝敗を決することとする。

- (1) ビジティングチームがその回の表で得点してホームチームの得点と等しくなったが、表の攻撃が終わらないうち、または裏の攻撃が始まってもホームチームが得点しないうちにコールドゲームが宣せられた場合。
- (2) ビジティングチームがその回の表でリードを奪う得点を記録したが、表の攻撃が終わらないうち又は表の攻撃が始まらないうち、あるいは裏の攻撃が始まってもホームチームが同点かたはリードを奪い返す得点を記録しないうちにコールドゲームが宣せられた場合。

《タイブレーク実施細則》

(1) 特別規則

- (イ) 延長 7 回あるいは試合開始から 1 時間 40 分を超えて（いずれか早い方）決勝戦は 9 回あるいは 2 時間 00 分を超えて（いずれか早い方）両チームの得点が等しい時以降の回の攻撃の回の攻撃は、一死走者満塁の状態から行うものとする。
- (ロ) 打者は、前回正規に打撃を完了した打者の次の打者の者とする。
- (ハ) この場合の走者は、前項による打者の前の打順の者が一塁走者、一塁走者の前の打者が二塁走者、そして二塁走者の前の打者の者が三塁走者となる。
- (ニ) この場合の代打および走者は認められる。

(2) チームおよび個人記録

チームおよび個人記録は公式記録とするが、以下に掲げる事項に留意すること。

(イ) 投手記録

- ・規定により出塁した 3 走者は、投手の自責点とはしない。
- ・完全試合は認めない。
- ・無安打、無得点試合は認める。

(ロ) 打撃成績

- ・規定により出塁した 3 走者の出塁記録はないものとする。ただし、盗塁、盗塁刺、得点、残塁などは記録する。
- ・規定により出塁した 3 走者を絡めた打点、併殺打などはすべて記録する。

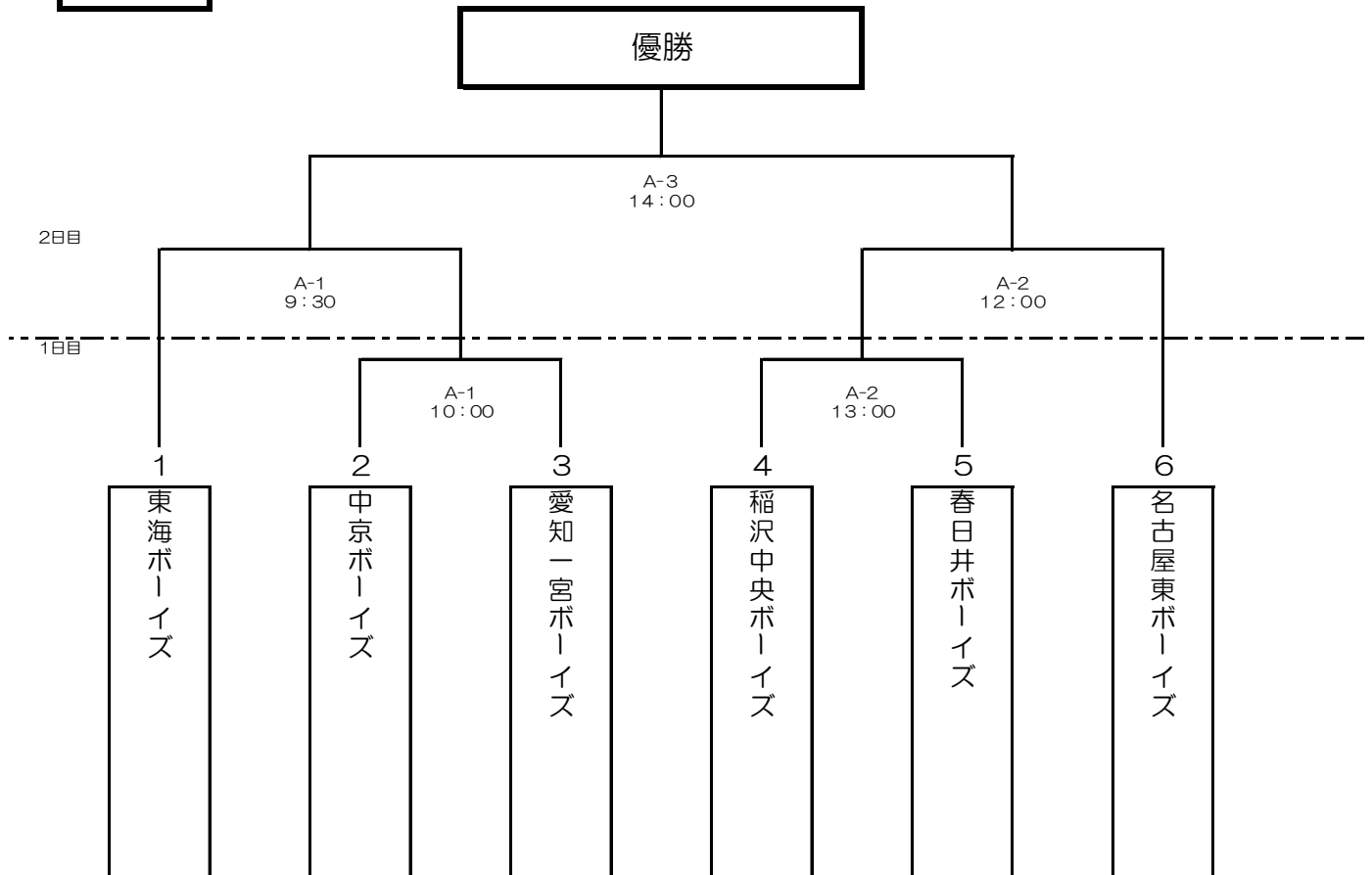
第 36 回 CTV 旗 争 奪 大 会 兼 第 50 回 春 季 全 国 大 会 予 選

1日目	2020年2月22日(土)	A	球場	熱田神宮公園野球場	愛知一宮ボーイズ
開会式： —					
雨天時： —					
2日目	2020年2月24日(月)	A	球場	熱田神宮公園野球場	愛知一宮ボーイズ

予備日	2020年2月29日(土)	B	球場	稲沢中央ボーイズ専用グラウンド	愛知一宮ボーイズ
-----	---------------	---	----	-----------------	----------

小学生の部

昨年優勝チーム：東海ボーイズ



東海ボーイズ

代表	加藤 剛司
監督	志賀 裕一
コーチ	金井 慎司
マネージャー	小川 公克
10 主将	宮本 祐 6年
0	中島 駿龍 2年
1	中島 龍之介 4年
2	新井 伶央士 5年
5	高木 双葉 6年
6	塚本 絆斗 6年
8	榊原 竣平 3年
9	川瀬 陽翔 6年
11	片田 晶凡 3年
12	竹内 心道 5年
18	小川 竜駕 6年
21	藤田 崇矢 4年
25	濱崎 翔太 5年
26	片田 千教 1年
33	津末 駿眺 5年
34	小塚 翔也 5年

中京ボーイズ

代表	三河 一輝
監督	上村 隼大
コーチ	西岡 隼人
マネージャー	澁谷 浩
6 主将	丹羽 秀太 6年
3	石井 太基 6年
4	西岡 蒼生 4年
7	松崎 晃太 5年
8	清水 彪雅 6年
15	吉戸 凜 6年
19	六浦 彰祐 4年
24	西岡 和奏 4年
28	松崎 青空 5年
54	桂 晃紫 5年
88	澁谷 夢乃 6年
89	藤田 吏翔 6年

愛知一宮ボーイズ

代表	大塚 正行
監督	木全 伸康
コーチ	岩田 康平
マネージャー	林 昌宏
8 主将	林 大智 6年
1	角田 暁 5年
3	中島 大翔 5年
4	阿部 昇英 6年
5	林 和史 4年
6	大脇 隼人 4年
7	後藤 堅斗 6年
9	木下 立稀 4年
11	齊藤 匠海 5年
12	稲生 優之介 5年
13	渡辺 遼太 4年
14	内田 光優 4年
15	渡辺 悠希 4年
16	阿部 誠准 3年

稲沢中央ボーイズ

代表	林 透
監督	長尾 実
コーチ	伊藤 文博
マネージャー	石田 侑靖
1 主将	犬飼 悠之介 6年
3	三澤 周平 5年
4	近澤 快飛 5年
5	馬場 海弥 5年
6	平野 光樹 4年
7	西川 篤夢 6年
8	大橋 歩生 6年
9	市橋 拓矢 5年
10	富倉 颯大 4年
11	平野 天斗 6年
12	蔭山 律輝 4年
13	三橋 柊三郎 6年
14	木全 礼恩 4年
15	渡邊 駿大 6年
17	平野 登有 4年
21	松浦 大悟 4年
22	山田 恵大 5年
23	青山 瑞歩 6年
24	平松 憲伸 6年
25	青山 瑞來 5年

春日井ボーイズ

代表	中島 一迪
監督	縄田 秀樹
コーチ	澤野 司
マネージャー	中垣内 隆司
1 主将	中垣内 颯太 6年
2	佐藤 温斗 6年
3	竹内雄惺 6年
4	小川 巧 5年
5	福井 剛志 6年
7	休石 裕翔 6年
8	澤野 天 6年
10	浅野 桃夢 5年
11	石田 一慧 5年
12	池端 真叶 5年
14	竹内 進太 4年
15	岩田 悠汰 4年
16	青山 獅王 4年
17	吉川 颯汰 4年
18	糸魚川 輝 4年

名古屋東ボーイズ

代表	中村 直人
監督	長尾 文博
コーチ	辻 啓人
マネージャー	佐々木 敦司
7 主将	佐々木 湊多 6年
0	吉松 流 4年
1	後藤 大和 5年
5	渡部 匠 5年
6	正山 蓮 6年
9	後藤 大我 5年
12	佐藤 有晟 5年
13	藤井 力斗 5年
14	佐々木 陽翔 5年
17	伊藤 千佳 4年
18	小田 悠馬 5年
21	武藤 湧真 5年
51	佐藤 壮 5年

CTV旗争奪大会歴代優勝チーム

第1回	小坂井メッツ	第19回	四日市トップエース
第2回	一宮ジュニアーズ	第20回	小牧中京ボーイズ
第3回	豊川ビクトリーズ	第21回	中京エンペラーズ
第4回	岐阜クラブ	第22回	尾張ウィングス
第5回	豊川ビクトリーズ	第23回	東海チャレンジャー
第6回	豊川ビクトリーズ	第24回	尾張ウィングス
第7回	東海チャレンジャー	第25回	東海チャレンジャー
第8回	小坂井メッツ	第26回	岡崎ボーイズ
第9回	四日市トップエース	第27回	東海チャレンジャー
第10回	四日市トップエース	第28回	豊川フェニックス
第11回	春日井ボーイズ	第29回	名古屋T L Cボーイズ
第12回	春日井ボーイズ	第30回	豊川ボーイズ
第13回	名古屋ファイターズ	第31回	豊川ボーイズ
第14回	津ボーイズ	第32回	四日市ボーイズ
第15回	津ボーイズ	第33回	四日市ボーイズ
第16回	東海チャレンジャー	第34回	中 止
第17回	四日市トップエース	第35回	東海ボーイズ
第18回	三河一宮ブラックタイガース		